



5. 計画の推進

5-1. 計画の実現に向けて

これまで示してきた目指すべき都市像や基本理念の実現に向け、各種施策の実施を着実に推進していくためには、行政による取り組みだけでなく、市民や企業、交通事業者等が、それぞれの立場や役割を尊重し、これまで以上に連携を高め、協働で取り組んでいくことが重要となります。

そこで、市民や企業、地域の各種団体、交通事業者、行政の役割について示すとともに、連携や展開の具体化、推進の方策について示します。

5-2. 計画推進のための連携

本計画の推進にあたっては、市民や企業、地域の各種団体、交通事業者そして行政が、それぞれの立場や役割を理解し、これまで以上に連携を深め、一体的な取り組みを進めます。

(1) 市民に期待する役割

交通事業者や行政が実施する取り組みに積極的に参加・協力するとともに、自らの交通行動を社会的にも、個人的にも望ましい方向へと転換するように努めます。

また、交通ルールの遵守によって、安全安心な交通環境の確保に努めます。

(2) 企業に期待する役割

通勤行動や業務活動において、行政と協働で交通需要の適正化のための施策を展開するように努めます。

(3) 各種団体に期待する役割（市民団体、自治会、商工会等）

行政主催の説明会への参加や地域で集約した意見を行政と協議するなど、行政との連携や協働によって、地域に根差した活動を展開するように努めます。

(4) 交通事業者に期待する役割（鉄道、バス、タクシー）

本計画における公共交通の位置づけを踏まえ、路線機能に応じたサービス水準の確保に努めるとともに、行政に対して利用促進や事業改善に関する提案を行うように努めます。

(5) 行政（市）の役割

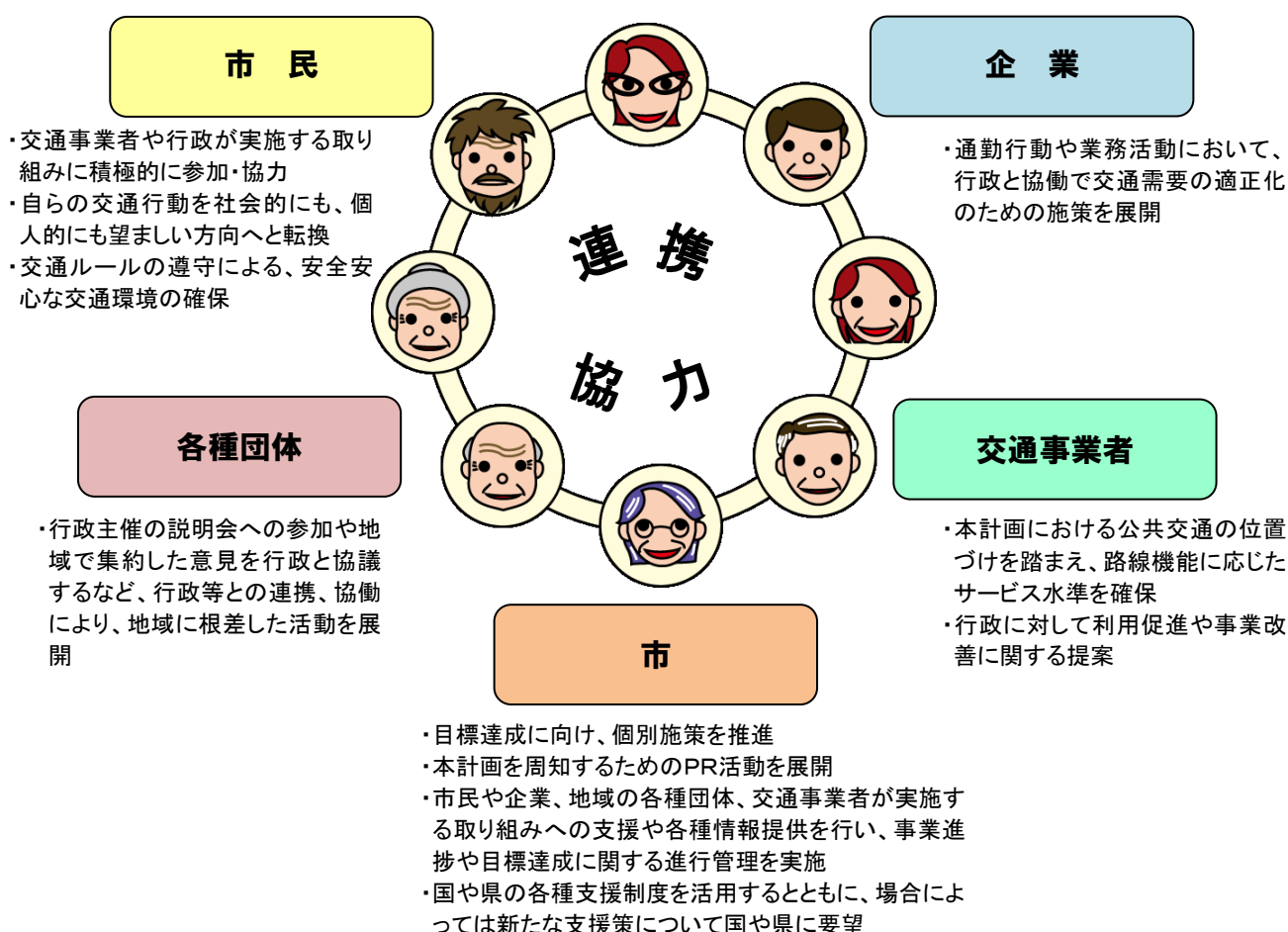
目標達成に向け、公共交通や自転車・歩行者ネットワークの形成、必要な幹線道路網の整備、そして交通行動計画の策定等といった個別施策を推進します。

また、本計画を周知するためのPR活動を展開するとともに、市民や企業、地域の各種団体、交通事業者が実施する取り組みへの支援や各種情報提供を行い、PDCAサイクル¹⁶による事業進捗や目標達成に関する進行管理を行います。

¹⁶ **PDCAサイクル**：計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（act）を表し、評価・改善結果を最初の計画内容に反映し、らせん状のプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

さらに、施策の実施に当たっては、国や県の各種支援制度を活用するとともに、場合によっては新たな支援策の検討について国や県に要望します。

図5-1 各主体の役割と連携



5-3. 計画推進のための方策

(1) 個別計画の作成

本計画に掲げる施策を計画的に推し進めていくため、実施主体や実施時期、目標、期待される効果などを明確にした具体的な個別計画を作成します。

▽作成する個別計画の例：公共交通関連計画、交通結節点整備計画、駐輪場整備計画、歩行者・自転車道整備計画

また、これらの個別計画の策定にあたっては、関係機関や専門家、地域の住民などと連携するとともに、計画目標の達成に向けて効果的・効率的な事業計画とするため、限られた財源の重点的かつ効果的な投資や建設コストの削減、そして既存ストックの活用などにも配慮します。

(2) 推進方策

本計画に掲げる施策の実施には、都市基盤整備をはじめとして多額の事業費を要するものもあるため、効果的・効率的な事業の実施やソフト施策との連携を図りながら、まちづくりや市民生活などの様々な観点から効果が得られるよう推進します。

このため、計画の策定（Plan）・事業の実施（Do）・事業の進捗評価（Check）・評価結果に基づく改善（Action）を行うPDCAサイクルにより進めるとともに、幹線道路や行政区域をまたぐような公共交通などについては、広域的な視点に立って施策展開していきます。

併せて、本計画に掲げる施策を効率的に実践していくため、上位計画である市総合計画における施策評価や事務事業評価などを参考として、進捗状況や目標達成度などを確認するとともに、関係機関や専門家、地域住民などにより評価を実施する仕組みづくりについても検討します。

さらに、これらの状況については、ホームページなどを通じて市民に公表し、透明性や公平性を確保しつつ進めるとともに、上位・関連計画の変更があった場合には、計画の内容を見直していきます。

図5-2 計画の進行管理イメージ

